

平成20年度事業評価書（事後）要旨

評価実施時期：平成20年8月

担当部局名：医政局指導課

事業名	災害派遣医療チーム（DMAT）研修事業
政策体系上の位置付け	<p>基本目標 I 安心・信頼してかけられる医療の確保と国民の健康づくりを推進すること</p> <p>施策目標 1 地域において必要な医療を提供できる体制を整備すること</p> <p>施策目標 1-1 日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が提供できる体制を整備すること</p>
事業の概要	緊急事態発生時に迅速に災害派遣医療チームを出動させる体制の整備を確保し、これまで以上に充実した救護活動ができるよう研修体制を整備するもの
施策に関する評価結果の概要と達成すべき目標等	<p>【評価結果の概要】</p> <p>(1) 有効性の評価</p> <p>有効性の評価</p> <p>災害発生時には、被災地域内の病院では診療機能が低下する上、被災患者が多数来院することから、重症患者に対して救急医療の提供が困難となる。 この場合、被災地域外の災害派遣医療チーム（DMAT）研修を受けたDMATが病院支援を行うことで、重症患者は被災地域外へ後方搬送し機能の整った病院で高度な医療を提供することにより救命につながることになる。 平成19年7月の新潟県中越沖地震では、15都県の39病院42チームが出動し、刈羽郡総合病院から重症患者をドクターヘリ等で被災地外の病院へ搬送するなど救命に寄与し、DMAT活動は高く評価されたところである。</p> <p>(2) 効率性の評価</p> <p>効率性の評価</p> <p>DMATは、平成19年度末現在全国で441チーム養成したところであり、平成19年7月の新潟県中越沖地震では42チーム、平成20年6月の岩手・宮城内陸地震では36チームが出動し、病院支援活動等には支障は無かったところである。 また、毎年10回（1回20チーム程度）以上の研修会を開催した結果、事前評価実施時における目標は達成したところである。</p> <p>(政策等への反映の方向性) 評価結果を踏まえ、平成21年度予算概算要求において所要の予算を要求する。 (概算要求額:67百万円)</p>

【達成すべき目標、測定指標、目標期間、測定結果 等】

アウトプット指標 (達成水準／達成時期) ※【 】内は、目標達成率(実績値／達成水準)						
		H15	H16	H17	H18	H19
1	研修参加チーム数 (200チーム以上／平成20年度)	—	—	100 【50%】	150 【125%】	184 【217%】
(調査名・資料出所、備考) 事前評価時の目標は200チーム以上の参加となっているが、DMATの運用は、災害発生時に常時200チームが対応できる体制が必要であり、現在では、1000チーム以上の養成を目標としている。						

関係する施政方針演説等内閣の重要政策(主なもの)	施政方針演説等	年月日	記載事項(抜粋)